

インドネシア官民合同委員会結果概要

日時：2022年3月8日(火) 尼時間 10:45-12:15、日本時間 12:45-14:15

場所：オンライン(teams)にて実施

印尼 金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)、インドネシア金型工業会(IMDIA)

日 厚生労働省 SESPP 事務局

参加者数：12人

政府(5)： 尼 金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)、事務局長1人

日 厚生労働省 海外協力室長を含め4人

業界団体(3)： インドネシア金型工業会(IMDIA) 事務局長代理含め3名

有識者(1)： SESPP 事務局技術顧問

事務局(3)： JTB 霞が関事業部3人、(別途、日尼通訳1人)

1. 今年度の成果(SESPP 事務局)

(1) 技能検定

・機械製図(CAD 作業)(2 級 SAT/SET@松下ゴーベル財団)

(2) ASESN 技能評価担当者セミナー

※COVID-19 の影響により、研修は全てオンラインにて実施。

2. 次年度実施に向けた提案(厚生労働省)

(1) SESPP 事業の最終目標：技能評価システム(技能競技大会・技能検定)を構築することより、技能労働者の育成及び能力向上を図る

(2) 技能競技大会・技能検定の目標・活動

・技能競技大会・・・技能競技種目のレベルアップ、専門家によるデモンストレーション・
 セミナー、技能競技委員の訓練、模擬協議の実施

・技能検定・・・技能検定の定着及び実施職種のレベルアップ、2021 年事業のフォローアップ

(3) 2022 年度の事業実施案

・技能検定：機械製図(CAD 作業)2 級 SET/SAC

3. 官民合同委員会での主な意見

(1) 次年度の支援実施職種について

・次年度は機械製図(CAD 作業)2 級で既に合格している5名を対象に1級を実施したい。
 (IMDIA・Rudianto 事務局長代理)

・機械製図(CAD 作業)に関して1級に取り組みたいという、積極的な姿勢は大変うれしい。

2020 年度、2021 年度と現地へ専門家を派遣しての研修ができておらず、本来であれば評価者認定(2 級)を行うことが優先と考える。現地研修ができた場合、評価者講習の補講・トライアル・評価者認定を実施しつつ、上級(1 級)の内容を加味していくといった方法も考えられる。専門家と協議し、インドネシアへの貢献につながるような協力を検討していきたい。(厚生労働省・内野海外協力交渉専門官)

(2) LSP-LMI の規定(Standard of Assessor)変更について

・評価者の基準に一項目追加された。具体的には、「評価者は自身が評価した内容に関して、直す部分があるか否かを確認して、LSP-LMI に報告する必要がある」というものである。

(LSP-LMI・Bambang Nurcahyono 事務局長)

・日本側でも必要な対応を行っていきたい。(厚生労働省・土井海外協力室長)

(3) 谷川前事務局長の希望職種について

・以前に支援希望職種として、機械製図(CAD 作業)、プラスチック成形、金属プレス、メカトロニクスを希望いただいた。

メカトロニクスは日本の技能検定にはないので、実施する場合は技能競技大会セミナーでの支援となる。今後、検討の際に参考にしていきたい。(SESPP 事務局・岩下)

4. まとめ

・今まで谷川氏の協力のもと、技能検定の普及を行ってきた。日本式技能検定を訓練学校等で実施している。次年度も本年度と同様に SESPP 事業の支援を希望する。

(LSP-LMI・Bambang Nurcahyono 事務局長)

・故谷川逸男氏に対して謹んで哀悼の意を表す。

谷川氏には本事業に長く、深く関わっていただき、谷川氏無しでは本事業の成功はなかったと考える。谷川氏の後任の方に本事業の引継ぎをお願いしたい。

2022 年に機械製図(CAD 作業)の 1 級を実施したいという、インドネシア側からの要望に関しては、どのように取り組んでいけるか、対応を検討したい。

本年度はオンラインとなってしまったが、順調に実施でき、成果をあげられたことに感謝申し上げます。

本事業は成果を出していくことが何よりも重要なので、引き続き協力をお願いする。

(厚生労働省・土井海外協力室長)